

令和 3 年 4 月 30 日

関係各位

立正大学地球環境科学部長
鈴木厚志

教員公募について（依頼）

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記要領により環境地学・固体地球環境科学分野の教員を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知方よろしくお取り計らいますようお願い致します。

記

1. 職階および人員：助教 1 名
2. 所属：地球環境科学部 環境システム学科
3. 専攻分野：環境地学・固体地球環境科学分野
4. 担当予定科目：
「地圏環境学実習」、「地学実験」、「環境化学実験」、「フィールドワーク」、「環境調査の基礎および実習」（オムニバス）等。
5. 職務：
 - (1) 学部および学科の運営に関わる業務
 - (2) 各種分析機器の管理運営に関わる業務
蛍光 X 線分析装置, 誘導結合プラズマ質量分析装置, X 線分析装置付き電子顕微鏡の維持・管理, 薬品・廃液の管理等。
6. 待遇：立正大学学園給与規程を適用する。私学共済制度への加入による保険あり。
7. 任用期間：2 年間（令和 3 年 9 月 1 日～令和 5 年 8 月 31 日）
任期は 2 年ですが、立正大学教員任用基準規程に基づき任期の更新が認められた場合には、2 回まで更新が可能（最長 6 年間）。ただし、自動更新ではなく、更新に際しては業務状況ならびに研究業績を考慮します（万一、学位未取得で着任した場合には任期更新無し）。
8. 着任時期：令和 3 年 9 月 1 日（水）
9. 応募資格：
 - (1) 立正大学地球環境科学部の教育理念と目的に沿って教育活動を行える者。
 - (2) 博士（Ph.D を含む）またはこれと同等の学位を有する者。あるいは着任時までに博士の学位を取得見込みであり、そのことを主査予定者が保証できる者。
 - (3) 野外調査の実績があり、学部における地学分野に関わる実験実習の指導、及び学部・学科などの業務を担当できる者。
 - (4) 自身の研究活動だけでなく、学生指導・教育活動や職場の職務分掌にも積極的に熱意と誠

意を持って取り組める者.

- (5) 蛍光 X 線分析装置, 誘導結合プラズマ質量分析装置, X 線分析装置付き電子顕微鏡を用いた研究実績を有し, これらの機器の維持・管理ができる者.
- (6) 国籍は問わない. ただし, 日本語を母国語としない場合は, 教育及び学内業務を遂行可能な十分な日本語能力を有すること.
- (7) 着任後, 熊谷校舎から距離 100km 以内, 通勤時間 2 時間以内の場所に居住できる者.

1 0. 応募書類 :

- (1) 履歴書 (市販様式で可, 写真貼付, 住所・連絡先<電話番号およびメールアドレス>, 高等学校以降の学歴, 学位および学位記番号, 職歴, 所属学会, 社会活動, 賞罰を記載すること)
- (2) 研究業績リスト (論文<査読付か否かを明記>, 著書, 学会発表, その他を区分して記載)
- (3) 教育研究業績を代表する 3 編の査読付き論文等の別刷又はコピー各 1 部 (3 編それぞれについて 200 字程度の概要を記すこと)
- (4) これまでの研究概要と今後の研究計画 (約 2,000 字)
- (5) 本学採用後の教育・研究に対する抱負 (約2,000字)
- (6) 応募者に関する所見を得られる人物 2 名の氏名, 連絡先 (メールアドレス等)
- (7) 書類審査結果通知のための返信用封筒 (返信先住所, 氏名を記入)

1 1. 応募締切日 :

令和 3 年 5 月 31 日 (月) 必着

1 2. 書類の提出先 :

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部 学部長 鈴木厚志 宛

*封筒の表面に「環境地学分野教員応募書類在中」と朱書きし, 必ず書留で送付すること.
応募書類は原則として返却しません. なお, 応募者の個人情報を選考以外の目的には使用しません.

1 3. その他 :

- (1) 書類選考の結果, 1~3 名を対象に令和 3 年 6 月 5 日 (土) に面接を行う予定です (旅費は支給致しません).
- (2) 採用内定後, 以下の大学院教員資格審査を受けていただきます.
立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻博士課程 (前期)
立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻博士課程 (後期)
- (3) 応募に関する問い合わせ先 :

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700 立正大学地球環境科学部環境システム学科
教授 川野良信 E-mail : kawanoy@ris.ac.jp

以上